

●必要事項をご記入のうえ、FAX 送信してください

参加申込書

町内・集落福祉全国ミニサミット in 湯沢雄勝

全国コミュニティライフサポートセンター
FAX 022-727-8737

※FAX番号はお間違えないようお願いいたします。

フリガナ 氏 名				性別	男 ・ 女
住 所	〒 ※住所の場所 自宅 / 職場				
電話番号		FAX			
メールアドレス					
所 属		職名			
参加申込	該当する欄に✓印をつけてください。 参加費 12月6日(土) <input type="checkbox"/> 全国ミニサミット 3,500円(資料代込) ↳ 12月7日(日)の現地見学・懇談ツアーに <input type="checkbox"/> 参加する / <input type="checkbox"/> 参加しない <input type="checkbox"/> 交流会 3,500円 12月7日(日) <input type="checkbox"/> 現地見学・懇談ツアーのみ参加の場合 2,000円(資料代込) 参加費合計 <input type="text"/> 円				

参加申込について

- 参加をご希望の方は、上記の参加申込書に必要事項をご記入のうえ、FAX、または電話、郵送、ホームページからお申し込みください。
- 参加費を右記郵便口座にお振り込みください。
- 参加費の振り込みを確認し次第、FAXまたは郵送にて参加券をお送りいたします。セミナー当日は、参加券をご持参のうえ、受付を行ってください。

※ご入金後のキャンセルにつきましては、参加費等のご返金はできかねます。資料の発送をもって代えさせていただきますことをあらかじめご了承ください。

お振込先
●郵便振替の場合 口座記号・番号：02230-1-136578 加入者名：CLC東日本
●銀行振込の場合 銀行名：ゆうちょ銀行 / 支店名：二二九店(二二キユウ) 口座種別：当座 / 口座番号：136578 名義：CLC東日本

参加申込書の受付期限 12/1(月)



特定非営利活動法人
全国コミュニティライフサポートセンター
(担当：橋本・堀切)
宮城県仙台市青葉区木町 16-30 シンエイ木町ビル 1 階

●電話からもお申し込みいただけます。
TEL : 022-727-8730

●CLC のホームページからも申し込みができます。
<http://www.clc-japan.com>

住民主体の「地域支え合い」活動の魅力を考える。現場で学ぶ。



町内・集落福祉 全国ミニサミット

あきた
in 湯沢雄勝

2014年 12月6日(土) 行政説明 事例報告 ディスカッション
12月7日(日) 現地活動視察

会場

羽後町文化交流施設「美里音」(みりおん)

〒012-1123 秋田県羽後町貝沢字拾三本塚 111-1 TEL 0183-62-2098

日本の地方、特に中山間地域の多くは、急速な人口減少・少子高齢化に直面し、その存続すら危ぶまれています。政府は地方活性化対策の司令塔となる「まち・ひと・しごと創生本部」を設置するなど、本格的な対策に乗り出しました。

一方、地域には、住民自治組織などと社協・行政・民間事業者が連携し、福祉の枠を超えた「協働」によるまちづくり、支え合いのコミュニティづくりの実践が生まれています。住民や当事者が主体となって繰り広げる居場所づくりや、地域資源を活用した仕事・役割づくり、制度にとられない生活支援、地域のマップづくりなど、これらの実践に派手さはありませんが、暮らしにしっかりと密着したもので、誰もが、住み慣れた地域で、なじみのある人たちとともに暮らし続けるために、それぞれの地域で不可欠なものになっています。

そして、これらの実践は、これからの地方の、あるいは高齢化が進む都市のあり方を考えるうえで、とても多くのヒントを与えてくれます。

このサミットは、これまでに秋田県湯沢市と兵庫県淡路市で開催してまいりましたが、今年度は来年度に開催する第3回目につなぐ「ミニ」サミットとして、秋田県の湯沢市・羽後町・東成瀬村を含む「湯沢雄勝地域」で開催いたします。ご当地の事例や秋田県内外で実践されるさまざまな事例をとおして、地域支え合い活動のもつ意義や展望を考えるとともに、参加された方々が、それぞれの地域で、活動を立ち上げる際の一助となることを目的としております。加えて、今回のミニサミットは、農林水産省による「平成26年度 地域における食と農と福祉の連携のあり方に対する実態調査事業」とも連携し、町内・集落福祉の実現にあたって、地域の食・農資源が有する可能性や意義について考えを深めることも目的として開催いたします。

主催：特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンター

共催：農林水産省

後援：湯沢雄勝市町村社協連絡協議会、湯沢市社会福祉協議会、羽後町社会福祉協議会、東成瀬村社会福祉協議会



1日目

住民主体の「地域支え合い」活動 の魅力を考える。現場で学ぶ。

12月6日(土) 会場：羽後町文化交流施設「美里音」(みりおん)

11:30~12:00 受付 12:00~12:20 開会(あいさつ)

12:20~13:00 基調報告 内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局 内閣参事官 高橋 和久

13:00~14:30 活動報告&ディスカッション

『湯沢・雄勝の地域支え合い活動にみる見守り・声かけの居場所づくり』

●報告者

●シルバーパワークラブ(湯沢市) 事務局 黒田恵美子
●にこにこクラブ(羽後町) 代表 石垣 和子
●なるせゆいっこの会 (東成瀬村) 会長 鈴木 春一
●秋田県南NPOセンター(横手市) 共助社会づくり担当 八嶋 英樹
さるはんない 会長 奥山 良治
狙半内共助運営体

●サポーター

●秋田県社会福祉協議会 常務理事 佐々木 繁
●東北福祉大学 総合福祉学部 教授 高橋 誠一

●コーディネーター

●仙台白百合女子大学 人間学部 教授 大坂 純

14:30~14:50 休憩

14:50~16:20 活動報告&ディスカッション

『地域の活性と支え合いの実現に向けた「食・農」の可能性』

活動報告

●報告者

●大館山田集落会(秋田県大館市) 副会長 赤坂 実
●NPO法人オーガニックライフコラボレーション(兵庫県神戸市北区) 代表理事 福本 裕子
大沢町自治連合会(兵庫県神戸市北区大沢町)

ディスカッション

●討論参加者

●農林水産省 食料産業局 食品小売サービス課外食産業室 室長 山口 靖
●厚生労働省 社会・援護局 総務課 課長補佐 佐藤 博

●コーディネーター

●NPO法人地域福祉研究所pipi 理事長 渡邊 洋一

16:20~17:20 パネルディスカッション

●パネラー

●湯沢市社会福祉協議会 会長 菅 義雄
●秋田県企画振興部 活力ある集落づくり支援室 室長 佐藤 廣道
●農林水産省 食料産業局 食品小売サービス課外食産業室 室長 山口 靖
●厚生労働省 社会・援護局 総務課 課長補佐 佐藤 博
●内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局 内閣参事官 高橋 和久
●NPO法人地域福祉研究所pipi 理事長 渡邊 洋一

●コーディネーター

●神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 教授 藤井 博志

17:20~17:30 閉会

18:00~20:00 交流会(市内別会場)

2日目

12月7日(日) 現地見学・懇談ツアー



とうふの会(湯沢市御嶽町)

「男性がざくばらんに話せる場を…」と、2002年12月から続く男だけの食事会。開催は当番制で、お互い負担にならぬよう「豆腐一丁あれば酒が飲める」がコンセプト。酒を飲みながら他愛のない話や地域活動の話で盛り上がる。会に刺激された女性が「お茶っこの会」を立ち上げた。

岩崎：生活サポーターの会(湯沢市岩崎地区)

岩崎地区の「かしま館」では、雪かきや除草などの困りごとを解決するため、定年を迎えて、少し稼ぎたい世代や、冬には仕事のない農家の人たちと、利用したい人をつないでいる。活動に参加する人も、利用する側も、有償の方が気がねなくていいと好評。今年度は、「岩崎：生活サポーターの会」を立ち上げ、本格的な活動に乗り出した。

開催日 2014年12月6日(土)・7日(日)

会場 羽後町文化交流施設「美里音」(みりおん)

〒012-1123 秋田県羽後町貝沢字拾三本塚111-1 電話 0183-62-2098

対象 自治会・町内会など地域組織のリーダー、民生児童委員や福祉委員、各種ボランティア、NPO、高齢者・障がい者・児童福祉関係職員、商工業者、農協・生協・社協、自治体関係者、平成26年度住み慣れた地域で暮らし続けるための「共生型支え合い」立ち上げ支援講座受講者、ほか、関心のある方

参加費 全国ミニサミット……………3,500円(資料代込)
現地見学・懇談ツアーのみ参加の場合……………2,000円(資料代込)
なお、12月6日(土)18:00~湯沢市内別会場にて交流会を開催します。……………3,500円

団体紹介

シルバーパワークラブ(湯沢市)



高齢者たちが長年培ってきた知識や経験を活用した高齢者同士の支え合い、生きがいづくりを目的とした団体。農作業や収穫物を漬物に加工して販売するほか、月一回の定例会では手芸教室、保健師を招いて引きこもり予防教室なども実施。

にこにこクラブ(羽後町)



秋田県羽後町西馬音地区で2011年、「足腰が弱ってお茶飲みに行けない」というお年寄りの声を受け、住民が集会所(町内会館)で参加費1000円のミニデイサービスを開始。月に一度の開催日には、70~80歳代の利用者約15人がお茶飲みや食事、おしゃべりを楽しむ。

なるせゆいっこの会(東成瀬村)



ゴミ出し、草取り、雪かき、買いもの…お年寄りが日常的に直面する「ちょっとした困りごと」を、住民同士の支え合い(有償ボランティア)で解決する活動が、2011年、秋田県東成瀬村で発足した。50~80歳代の22人が協力者として登録。活動の幅も広がっている。

秋田県南NPOセンター狙半内共助運営体(横手市)



秋田県横手市の山間集落4地区で、体力の落ちた高齢者に代わって屋根の雪下ろしなどを行う住民共助組織が、2012年秋、相次いで立ち上げられた。秋田県南NPOセンターは、各地区で座談会やワークショップを開くなど、共助組織の立ち上げに重要な役割を果たした。

大館山田集落会(秋田県大館市)



高齢者が生きがいをもって自立できる生活基盤の確立を目標に、220世帯676人が暮らす秋田県大館市山田地区で、住民主体の地域づくりが始まった。廃校での産直イベントを皮切りに、マイタケ栽培など集落の気候風土と人材を生かした取り組みが進んでいる。

NPO法人オーガニックライフコラボレーション(兵庫県神戸市)



「自分らしい生き方で自然と調和した暮らしが出来る社会に!」とビジョンを掲げ8年目になる団体。アグリセラピー®という自然栽培の農に触れながら自分らしさを取り戻す独自のプログラムも5年目。農作業が心に及ぼす影響を数値化することにより産業医や企業、また各地からの関心も増え、信州でも展開を。地に着いた都市と農村の交流の窓口を目指している。